

ハートランド平尾台株式会社

I 法人の概要（平成 28 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉南区平尾台一丁目 1 番 1 号
- 2 設立年月日 平成 8 年 4 月 1 日
- 3 代表者 代表取締役 柏木 康彦
- 4 資本金 364,800 千円
- 5 北九州市の出資金 88,200 千円（出資の割合 24.2%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	9 人	0 人	1 人	8 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	8 人	0 人	0 人	8 人
職員	5 人	0 人	0 人	5 人

II 平成 27 年度事業実績

1 事業の経過及び成果

(1) 経過

平成 27 年度は比較的天候に恵まれたこともあり、郷の入園者数は当初目標数（31 万人）を上回る結果となった。特に 7 月のドイツ・スカウト団のキャンプ場団体利用や 9 月のシルバーウィーク期間中の好天気、また冬季のメインイベントである「平尾台ふゆはなび」は過去一番の盛況で、それぞれ入園者数の増に貢献した。

(2) 成果

① 「平尾台自然の郷」の入園者数 314,664 人（平成 26 年度 289,311 人）

入園者数は、上期 210,384 人（前年度 200,724 人）、下半期 104,280 人（前年度 88,587 人）となった。年度当初は雨天が続いたが、前述のとおり、その後は好天気に恵まれ、上半期、下半期ともに前年度を上回った。

② 「平尾台自然観察センター」の入館者数 42,713 人（平成 26 年度 46,006 人）

入園者数は、上期 27,175 人（前年度 29,794 人）、下半期 15,538 人（前年度 16,212 人）となった。例年、多くの人々が参加しているペルセウス座流星群鑑賞会、クリーン大作戦が雨天中止になったことが入館者減の主な原因である。

③ 売上・利益

売上高は、229,877 千円、経常利益は、5,934 千円となった。法人税等控除後の当期純利益は、3,192 千円（平成 26 年度：1,717 千円）となった。

2 主な事業実施状況

(1) 「平尾台自然の郷」

① PR活動

- ・春季は、ゴールデンウィーク・夏休みに焦点を当て、市内配布に重点を置き、地域情報誌に広告を掲載した。秋季については、当園の主な客層であるヤングファミリーをターゲットにした地域情報誌・ホームページを中心に広告を掲載した。
- ・マスコミを活用したパブリシティ広報に力を入れ、情報誌やテレビ、新聞、市政だよりなどに情報提供を行ったほか、テレビなどの取材には積極的に対応した。
- ・圏外でのPR活動として、「まつりみなみ」、「陶磁器フェスタ」へ出店した。
- ・海外からの視察・訪問に対しては積極的に対応し、平尾台全体をPRすることにより、その後の「平尾台自然の郷」の利用に繋げることができた。

② 入園者の満足度向上の取り組み

- ・ゴールデンウィーク期間、夏休みの土日・お盆は、18時まで開園時間を延長した。
- ・夏季の暑さ対策として「せせらぎ」の運用、「ミストクーリングシステム」、「幼児用簡易プール」などを設置した。

③ 各種イベント等の実施（新規分）

- ・入園者400万人達成記念セレモニーを開催した（5月5日）。
- ・世界スカウトジャンボリー（山口市阿知須・きらら浜で開催）のプレキャンプ地としてドイツ・スカウト団を自然の郷キャンプ場に誘致した。
- ・シルバーウィークの目玉イベントとして、自然の郷の工房作品や物販商品、農産物の販売を行う「平尾台高原市」を4日間開催した。
- ・新たなスポーツイベントとしてBMX大会、自転車スクールを開催した。
- ・修学旅行生（滋賀県）の平尾台ケイビング体験を誘致した。
- ・工房の新メニューとして「紙バンド作り」、「フォトフレーム作り」教室を始めた。

④ 各種イベント等の実施（継続分）

- ・平尾台の特色を活かしたイベントであるガイドツアー（ケイビング、カルストジャングル冒険ツアー）を実施した。また、地元小学生を対象に「平尾台ケイビング学習」を実施した。
- ・そば打ち教室や陶工房等、各種教室や講座を実施した。また、全日本素人そば打ち名人大会九州予選会を食工房で開催した。
- ・芋ほり、ブルーベリー摘み取り体験等の菜園・果樹園を活用したイベントを行った。
- ・初日の出見学会は好天気で、過去最高の約2600名が参加した。
- ・平尾台観光祭、新米まつり、東谷フェスティバル、平尾台ふゆはなび、平尾台野焼き等の地域と協働したイベントを実施した。
- ・トレイルランニング、クロスカントリー等のスポーツイベントを共催し、高原ピクニックコンサート、フォルクローレコンサート等の音楽イベントを受け入れた。
- ・小学校環境体験科授業、中学校野球部対抗駅伝大会等の学校教育と連携・協力したイベントを行った。
- ・林道ラリー、コンパクトカーミーティング等の臨時駐車場を活用したイベントを誘致した。また、ストリートミニ撮影会を行った。

(2) 「福岡県平尾台自然観察センター」

- ・新規イベントとして「平尾台ガイド散歩」を実施した。

- ・平尾台散策道整備、外来植物駆除、野草調査、草刈りなどのボランティア活動を行い、平尾台の景観維持、山野草保護に努めた。
- ・野外イベントとして、鍾乳洞探検（ケイビング）、九州自然歩道ウォーキング、貫山登山、野鳥観察会、野草観察会、初夏の虫観察会、きのこと観察会、コウモリ観察会、不動坂ハイキングなどを実施した。
- ・屋内イベントとして、アートフラワー講座、野草写真展、きのこと写真展、自然配達写真展、夏休み工作教室、カルスト文化祭、凧作り、松ぼっくりツリー作り、ミニ門松作りなどを行った。

Ⅲ 平成 27 年度決算

1 貸借対照表（総括表）

平成 28 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	478,280,513	流 動 負 債	16,784,730
現 金 預 金	455,840,837	買 掛 金	1,845,717
売 掛 金	14,362,941	未 払 金	3,573,148
商 品	7,176,595	未 払 費 用	4,401,295
原 材 料	471,580	未 払 法 人 税 等	2,831,200
貯 蔵 品	227,560	未 払 消 費 税 等	1,900,700
前 払 費 用		預 り 金	435,072
未 収 税 金	201,000	賞 与 引 当 金	1,797,598
固 定 資 産	54,005,184	負 債 の 部 合 計	16,784,730
（有形固定資産）	(53,713,984)	純資産の部	
建 物	1,438,502	科 目	金 額
構 築 物	32,851	資 本 金	364,800,000
車 両 運 搬 具	13	資 本 剰 余 金	73,837,619
器 具 備 品	526,360	その他資本剰余金	73,837,619
土 地	51,716,258	資本金及び資本準備	73,837,619
（無形固定資産）	(291,200)	金減少差益	
電 話 加 入 権	291,200	利 益 剰 余 金	76,863,348
（投資その他の資産）	(0)	繰越利益剰余金	76,863,348
敷 金	0	株 主 資 本 合 計	515,500,967
繰 延 資 産	0	純 資 産 の 部 合 計	515,500,967
開 業 費	0		
資 産 合 計	532,285,697	負 債 及 び 純 資 産 合 計	532,285,697

2 損益計算書（総括表）

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日（単位：円）

科 目		金 額	
経 常 損 益 の 部	(営業損益の部)		
	営業収益		229,877,097
	売上高	229,877,097	
	営業費用		224,515,706
	売上原価	196,652,371	
	販売費及び一般管理費	27,863,335	
	営業利益		5,361,391
	(営業外損益の部)		
	営業外収益		572,314
	受取利息	178,314	
	その他の営業外収益	394,000	
	営業外費用		126
	開業費償却	0	
その他の営業外費用	126		
経常利益		5,933,579	
税引前当期純利益		5,933,579	
法人税、住民税及び事業税		2,741,610	
当期純利益		3,191,969	

IV 平成 28 年度事業計画

1 「平尾台自然の郷」

- ① 冒険遊び場（プレイパーク）の設置検討：子供が自分の責任で自由に遊べる「冒険遊び場」設置の可能性について、関係団体と協議を進め計画を策定する。
- ② 「平尾台ふゆはなび」のリニューアル開催：冬季のイベントとして定着しており、集客効果の非常に高い「平尾台ふゆはなび」について、内容をリニューアルして開催する。
- ③ 青龍王の追加製造：大理石洞熟成麦焼酎として平成 17 年から製造している「青龍王」については、在庫数が少なくなったことから、原材料（麦、芋）の検討を含め、平成 28 年度から追加製造する。
- ④ レストランの効率化：平成 28 年度から、セルフサービス方式の導入、メニューの見直しにより、スピーディかつリーズナブルな食事を提供する。また、繁忙期には従来の弁当販売、手打ちそば、石窯パンに加えキッチンカー等を導入し、入園者の様々なニーズに対応する。
- ⑤ 新規イベントの実施、キッズコーナーの開設：平成 28 年度は、無線操縦機（ドローン）の体験イベントを開催する。新たなスポーツイベントとして秋季に「リレーマラソン」を実施する。また、平成 27 年度末に無料休憩所内に設置したキッズコーナーの運営を開始する。
- ⑥ 地域別、ターゲット別の PR 実施：入園者に対する発地調査や東九州自動車道の全線開通を踏ま

え、地域やターゲットのニーズに応じたPRを実施する。

- ⑦ 臨時駐車場の整備：ピーク時の駐車場需要に対応するため、臨時駐車場の路面整備を行い、駐車可能台数の増に取り組む。

2 「平尾台自然観察センター」

- ① 入館者数増：「平尾台自然の郷」との共催事業や広報活動の充実を図り、平尾台全体への集客増につなげる。特に平成28年4月の東九州自動車道全線開通を踏まえ、大分・宮崎方面からの集客を図る。
- ② イベントの充実：昨今の登山ブームを捉え、主に中級者をターゲットに、カルスト台地の絶景と自然の素晴らしさをキーポイントとした各種の登山イベントに取り組む。
- ③ 経費節減、省エネルギー：イベント経費の効率的執行、省エネに努めるとともに、イベントの充実による収入増を図る。

V 平成28年度予算

1 予定損益計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日（単位：千円）

勘定科目	平成28年度予算
(営業損益の部)	
売 上 高	224,606
売 上 原 価	192,348
一 般 管 理 費	29,458
営 業 利 益	2,800
(営業外損益の部)	
営 業 外 収 益	560
受 取 利 息	170
そ の 他 営 業 外 利 益	390
営 業 外 費 用	0
営 業 外 利 益	560
税 引 前 当 期 利 益	3,360
法人税・住民税 及び事業税	1,638
当 期 利 益	1,722

VI 役員名簿

平成 28 年 7 月 1 日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	柏木 康彦	社長
取締役	西田 幸生	北九州市 企画調整局長
〃	加茂野 秀一	北九州市 産業経済局長
〃	横矢 順二	北九州市 建設局長
〃	齊藤 哲郎	三菱マテリアル(株) 九州工場事務部長
〃	根石 紀雄	(株)ユアーズ 代表取締役社長
〃	安藤 俊作	住友大阪セメント(株) 小倉事業所副所長
監査役	糸永 卓見	(株)太平設計 代表取締役社長
〃	定野 敏彦	(株)西日本シティ銀行 常務執行役員